



Q

誰もが行きたくなる
公園を

大野 洋子 議員



A

ニーズを把握し、改修や更新を
計画的に行う

質問一 公園施設長寿命化計画策定事業の成果と課題について。
ア 危険箇所との把握と修繕計画は。
イ 遊具の安全性と傾向は。
ウ 環境に即した市民ニーズは。
ニ 市民との協働による公園づくりについて。
ア 公園サポート団体との連携は。
イ 特定非営利活動法人あそび計画との連携は。
ウ 住民参加の先進事例は。
答弁一（市長）ア 専門技術者による点検調査の結果を基に、補修や更新の優先度などを定めた。今後、財政状況を勘案しながら改修や更新を計画的に進める。
イ 劣化や損傷は、30年を超えるものに顕著である。日常点検や定期点検を実施し、使用禁止措置や応急的修繕などを行っている。

ウ 防犯や防災、バリアフリーなど社会的ニーズを踏まえ、利用者の要望を把握して改修等をしたい。
二ア 今後も支援を行い、協働による維持管理を進める。
イ 補助金を交付し、子どもたちの創造力を育み、ふるさと意識の向上につながる支援をしていく。
ウ 先進事例を研究し、地域住民の意見を反映させ、身近に感じる公園づくりを目指す。

◎その他の質問

認知症の予防と対策

Q

若ものが魅力を感じる
まちづくり

藤原 建志 議員



A
子育て支援や教育環境の充実等により、地域の活性化をしたい

小学校区に子どもサロンの設置を進めたい。

二（教育委員長） 二期制の検証のため、教職員や保護者にアンケートを実施する。小・中学校の望ましい教育環境について、学校や家庭の協力を得て検証を進める。
三（市長） 犯罪防止のため、自治会と連携して防犯灯を設置する。道路照明灯についても、道路照明施設設置基準に基づいて設置し、

安心して安全な環境の整備に努める。
四 自然景観などを活用した地域の魅力創出の積極的な取組を継続し、交流人口の増加や地域の活性化に結び付けられるよう進める。

質問一 子育て支援について。

二 教育環境の充実について。

三 犯罪や交通事故の少ないまちづくり。

四 水土里の交流圏の構築は。

答弁一（市長・教育委員長） 公立保育所の建て替えと民間施設の

整備と運営の支援を進め、待機児童

童をゼロとしたほか、時間外保育

事業などを整備してきた。杉下小

学校区に増設予定の学童保育室については、送迎の経費を支援する

制度ができたので、運営する法人

と協議し、適切な対応をしたい。

また、子どもたちの放課後や週末の居場所づくりとして、全ての

